

私のすすめるこの1冊

今野 勝明 (教育支援センター 准教授)

『項羽と劉邦』

司馬 遼太郎 (著)

この本は、中国全土の統一を成し遂げた秦の始皇帝の死後、各地で秦に対する反乱が起こる中、台頭してきた楚の項羽と漢の劉邦の対決を中心に様々な英雄豪傑の活躍を描いた歴史小説である。

この本との出会いは、高校時代に友人から「君は、この小説に登場する陳平という人物に似ている。」と言われたことがきっかけであった。陳平という人物は、物語の中で劉邦に仕え数々の謀略を巡らす、素行も悪い人物として描かれており、読み進める中であまりいい気分はしなかったことを今でも覚えている。(後に、その友人に陳平に例えた意図をきくと、当時、私が、人前でリーダーシップを発揮するよりもその下でプレーンとして働き、集団を裏から運営する立場を何度か務めていた。また、その発案した内容も奇をてらい正攻法でないものが多かったため、人物像を重ねたわけではないとのことであったが・・・)

こういった経緯で読み始めた本であったが、次第に司馬氏の卓越した歴史描写と、登場する人物達の魅力に取り憑かれ、夢中で読み進めた。この小説の概要は初めに述べたとおりだが、もう一つ作品全体を通して「人望」とは何か、「大きなことを成し遂げる人物の資質」とは何かということを考えさせられる内容となっ

ている。それは、自身も無双の強さを誇り、その軍は向かうところ敵なしだったにもかかわらず最後は人心を失い四面楚歌(最期は自軍だった楚軍に取り囲まれた状況となる)となって滅びてしまう項羽、一方、何度も敗走を繰り返すも、その度に周囲に助けられ最後には天下の覇者となった劉邦、この二人とそれを取り巻く人々の人間模様によって表現されており、将来の自分の在り方に悩む若者の一人であった私にはとても考えさせられる内容であった。私は、それまで興味のある最先端の自然科学分野の書物ばかりを読み、歴史や過去の偉人から学ぶことに対して、失礼ながら「カビの生えた話」というイメージで食わず嫌いとなっていた。しかし、この本との出会い以降、歴史物や人物像に焦点を当てた書物から学ぶことを大切に、現在もライフワークとして続けている。

今回、この「私のすすめるこの1冊」というお話をいただいたとき、若い学生諸君に、歴史や過去の偉人から学ぶ素晴らしさを知って欲しい、また、食わず嫌いにならず広い分野に視野を向けて学ぶことの大切さを伝えたいと考えたため、私の体験も含めてこの本を紹介させていただくこととした。

★図書館では、理科や数学教育専修の院生による学習相談カウンターを設けています★

- ★初等理科教育、初等数学教育、小学校教科内容論（理科、数学）などの基礎的な授業に対するアドバイス
- ★レポートの書き方がわからない
- ★文献ってどうやって探すの？
- ★パソコンの基本的な使い方 などなどお気軽に！

【場所】 附属図書館北館2階 ラーニングcommons

【期間】 2015年10月～2016年1月

【時間】 16:00～20:00の該当する時間

対応できる範囲は担当者によって異なります。曜日や時間、担当教科は日によって変わりますので、ホームページやラーニングcommons掲示板等で最新の情報をご確認ください。

図書館員のつぼやき (10)

ラーニングcommonsに文房具を設置しました！

グループ発表の準備をしたり教材を作ったりできるように、ラーニングcommonsに文房具を置いていますので、ぜひ使ってみてください。マジックペンやホッチキス、セロテープ、色鉛筆などなど…。壁面の大きなホワイトボードには教室用の大きな三角定規や分度器などもあります。模擬授業などに使ってみよう！



理科教育専修 ★直川和樹 (のうがわ かずき) さん

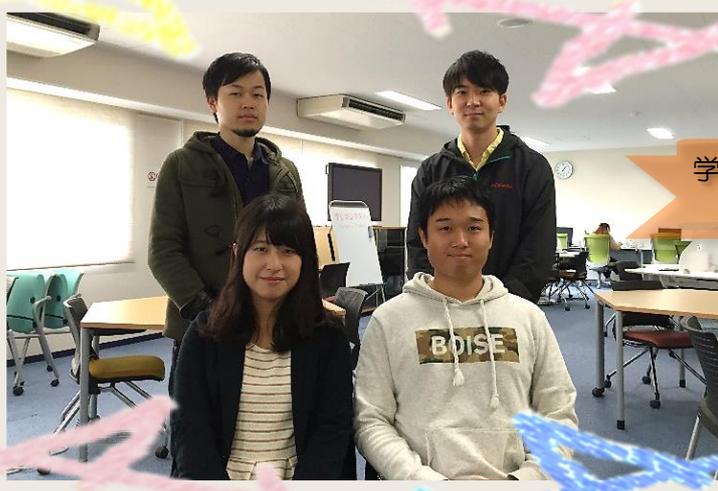
担当科目：小学校内容論理科・初等理科教育等、理科に関する科目

現在、大学院で学びを深めながら、非常勤講師として中学生に理科を教えています。普段は 村上教授のもと理科教育の研究を行っており、初等理科教育(e)では松林先生のティーチングアシスタントもしています。また、児童相談所に勤務し、子どもたちの学習をサポートしています。「理科は難しい・苦手意識がある」という人も安心して来てください。ほんの少し悩みがあるという人も、ふと立ち寄ってみてください。

理科教育専修

★林孝亮 (はやし こうすけ) さん 担当科目：理科

大学の授業でわからないことや、レポートや論文を書いて困っていることを大学の先生に質問しようと思っても、少し勇気がいたり、先生と時間が合わず出会えなかったりしたことはありませんか。そんな時は附属図書館2階のラーニングcommonsに来てください。夕方以降、大学院生が待機してみなさんの質問に親身にお答えします。特に私は理科が専門ですので、理科に関する授業や教員採用試験の理科の筆記対策についての質問をお待ちしています。



学習支援員さんからのメッセージ！

理科教育専修★布施裕衣 (ふせ ゆい) さん

担当科目：理科・算数

「レポートの書き方がよく分らない」「教員採用試験について不安がある」このような疑問点や不安を抱えていても、誰に相談したらよいのか…と困ってしまうことはありませんか。大学生活の中で困ったことがあれば、図書館に足を運んでみて下さい。どんな些細なことでも、ちょっと話したいことがある場合でも大歓迎です。一緒に考えていきましょう。

理科教育専修★橋本尚也 (はしもと なおや) さん

担当科目：小学校内容論算数・初等算数科教育等、算数、特別支援教育に関する科目

大学院では、算数、数学教育を学んでいます。そして、特別支援教育について、算数、数学教育の視点からも研究を行っています。そのため、特に算数、数学、特別支援などに関する質問を待っています。そのほか、論文の書き方、幼稚園から高校、特支の免許、授業など算数、数学に関することでないことでも、気軽にどうぞ！行って、良かったと思えるよう誠心誠意取り組みます！

**「日経 BP 記事検索サービス」の
トライアルを行っています！**

【11月1日～12月末まで】

日経 BP 社が発行する雑誌の記事を検索・閲覧できるデータベースです。

『日経ビジネス』・『日経サイエンス』・『日経パソコン』など約50誌を利用できる他、パソコン等のスキルアップ講座を利用することもできます。学内 LAN からの接続に限りませんが、附属図書館の開館時間に関係なく、いつでも検索・閲覧することができます。

休業に伴う長期貸出について

★下記の期間、冬休み長期貸出を実施します！

院生・教職員：11月25日(水)～12月9日(水)

学部生：12月9日(水)～12月22日(火)

【返却期限日】2016年1月7日(木)

※視聴覚資料を除く

企画展示室

【開催中】第20回 教科書展
中等教育用教科書(保健体育編)

【日時】12月25日(金)まで
9:00～17:00

※12月5日(土)は入試のため休館です。

ぜひ、見に来てくださいね！



えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、
12月21日(月) 15:00～ です。

『いろいろサンタのプレゼント』しのだきみつお：作・絵

今月の絵本カードは
こちら！



★おすすめポイント★

サンタさんの服のところが穴ぬきになっているので何色に変わるか考えるのが楽しい！

最後にはお子さんのところへサンタさんがやってくる！

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

**★みんなでつくろう！わくわくブックチャート★
読書キャンペーン** (対象：本学学生)

2016年2月17日(水)まで実施中！
コメントを書いてグッズをもらおう！

- ①まず本を借りる◆「そったくんポリバッグ」をもらう
- ②借りた本を返す◆「ポイントカード」をもらう
- ③本を読んでチャートを書く◆1ポイントもらう
または、本を読んでコメントを書く◆3ポイントもらう

館長賞のWチャンス！

④学修支援グッズをもらう

- ◆ 3ポイント：そったくんシャープペンほか
 - ◆ 4ポイント：テープのり、修正テープほか
 - ◆ 5ポイント：そったくんビニールトートバッグ
 - ◆ 10ポイント：フリクションペンほか
- (先着順。なくなり次第終了)

●●● 賞品の引換 ●●●

♠ 期間：2016年3月25日迄、実施中！

♠ 時間：月～金：9:00～17:00

♠ 場所：附属図書館1F 事務室

【開催中】 秋季企画展

「探家二条家の江戸時代
～京都教育大学所蔵
二条家文書を読み解く～」

【期間】11月14日(土)～
12月25日(金)迄

【開館日】月・水・金・日

※12月23日(水)は祝日のため閉館



【開催中】

第4回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

【期間】6月15日(月)～12月5日(土)

今年も大学ミュージアムへ！京都の大学ミュージアムをまわって「知」と「美」と「素敵な景品」を手にとろう！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品
装束標本全 (中等科教材)

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム

<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **丸山 啓史**(発達障害学科 准教授)

障害児の放課後等デイサービス事業所における保護者の就労支援の位置づけ

丸山 啓史

京都教育大学紀要. 2015, No.127, pp. 77-91

たとえば学校の教師になった人がいたとしましょう。その人に子どもが生まれて、子どもには重い障害があって、学校に入ってから子どもが一人で留守番をしたり出かけたりすることは難しかったとしたら、教師になった人はどのようにして仕事を続けていくことができるでしょうか。放課後や夏休み等の過ごし方が特に問題になります。

障害のある子どもの保護者、とりわけ母親が就労するうえで重要になるのが、放課後等デイサービスです。放課後・休日に障害のある子どものための活動を実施する事業で、2012年に制度が発足し、この数年の間に事業所が全国的に急増しています。しかし、放課後等デイサービスは、制度的には保護者の就労支援を主な目的とするものではありません。児童福祉法では、「生活能力の向上のために必要な訓練」などが事業内容とされています。

この論文では、事業所を対象とする質問紙調査をもとに、事業所が保護者の就労支援をどう位置づけているのかを示しました。保護者の就労支援を事業の役割として考えている事業所も少なくはないのですが、就労支援に消極的・否定的な事業所も多いことが把握されています。子どもが放課後等デイサービスに通うことで「親子の時間」「家族の時間」「家庭での時間」が少なくなることを問題視する見方もあります。

「親子の時間」の意義を否定はしませんが、(障害のある)子どものケアを母親・家族に求める意識がまだまだ根強いのではないのでしょうか。障害のある子どもの問題に限らず、「家族依存」の克服が大きな課題だと考えています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 127号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されます。

開館日程

□ 9:00-21:00 ■ 9:00-17:00 ■ 休館(CLOSED)

2015年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

12/5 推薦入試
12/23-1/4 冬季休業

2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1/5 授業再開
1/16-1/17 大学入試センター試験

● 京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



● 携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.183 (2015年12月号)

発行日:平成27年12月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp